

四日市市立水沢小学校

学校だより

令和6年6月18日 第16号



保護者・来客駐車場南側から出入りできるようにしました。

本校の「保護者・来客駐車場」南側の柵を開放し、人が出入りできるようにしました。これまでは、駐車場の北側しか開放されておらず、朝の登校ピーク時には、車と人が開放された場所から行き来をし、非常に危険な状態になっていました。特に雨の場合は、車の量が多く、歩行者が傘をさしていることもあり、見通しが悪くなっている状況でした。これまで保護者と一緒の場合は、東側入口から学校へと入ってもらっていましたが、今後、特に子どもだけの場合は、南側の柵から出入りし、運動場を通過して登校すると、交通事故防止にもつながると考えています。ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

なお、開閉時に指をつめたりする危険性を考え、現在、ナイロン製結束バンドで扉を固定し、開けたままの状態にしてあります。ご了承ください。



熱中症対策をお願いします。

6月に入り、熱中症予防運動指数の WBGT 値の測定を行っています。先週末は、熱中症予防運動指数の WBGT 値が28~31となり、「激しい運動は中止する」に位置する嚴重警戒値となりました。WBGT値31以上の場合には、日本体育協会「スポーツと熱中症予防ガイドブック」の指針により、学校での体育活動や外遊びは中止となります。学校では、熱中症対策として、体育の時間や長い休み時間、登下校時等においては、マスクを外すことと、休み時間に運動場で遊ぶ場合には、帽子をかぶって過ごすように指導を行っています。

保護者の皆様には、子どもたちが自由に水分補給できるように、水筒には充分なお茶の準備をしていただくように、ご協力をお願いします。

6年生が社会見学（奈良）に出かけました。

6年生の社会見学を6月15日(木)に実施しました。6年生にとってこの社会見学は、11月21日(木)、22日(金)に実施する京都方面1泊2日の修学旅行に向けた『日帰り校外学習』の位置づけとなります。校外学習では、学校での学習内容と絡め、さまざまなことを学ぶことが大切ですが「点呼がしっかりとできるのか」「集団行動ができるのか」「人の話をしっかりと聞けるのか」「時間を守れるのか」といったところも意識する必要があります。



平城宮跡歴史公園では、子どもたちは復元遣唐使船の前で集合写真を撮り、その後、船の見学をしましたが、1300年前の奈良時代にこんな船があり、遣唐使が1隻100人を超える数隻の船団を組んで東シナ海を渡っていたということを想像すると、とても壮大なスケールでロマンを感じました。平城宮いざない館では、子どもたちは興味・関心を持った展示をデジタルカメラに収めていました。「継手(つぎて)・仕口(しぐち)……木と木をつないだり、かみ合わせたりする方法」のコーナーがあり、いくつかのグループは、どうかみ合わせるのかに挑戦していました。「古代衣装を着て記念写真を撮ってみよう」というコーナーもあり、グループごとに衣装を着て、記念写真として納めていました。その後朱雀門(奈良時代の平城宮の正門)を見学し、天平みはらし館のVRシアターで、在りし日の平城京の姿を5面のマルチスクリーンに再現した「平城京 はじまりの都」を見ました。バーチャルリアリティを駆使して再現されていて、気球に乗ったような感覚で当時の生活の一部を見ることができました。

三笠観光会館で昼食(かつカレー)をいただいた後は、二月堂、東大寺に向かいました。二月堂の舞台からの眺めは、大仏殿周辺や奈良市街地、平城宮跡、等を一望することができ、「奈良で一番美しい眺め」とも言われています。かなりの階段の数で、舞台上がるのに苦労した子も多かったと思いますが、苦労した分、眺めは格別のものだったと思います。東大寺では、「奈良の大仏」で知られる「るしゃな大仏……高さ約15m、顔の幅約3.2m、手の大きさ約2.5m」に子どもたちは圧倒されていました。東大寺の周辺には鹿がたくさんいて、よそ見をしている間に近づいてきていてびっくりし、知らず知らずのうちに鹿の糞を踏んで「幸うん」を持った子も何人かいたようでした。

今回の社会見学では、学校の授業では学べない、貴重な体験をすることができました。自分で実際に見て体験し、感じることは深く理解することにつながり、とても意味のある大切なことです。今回の行動体験をいかして、11月の修学旅行でも深い学びができることを期待しています。

(文責 北住 昌文)